

平成 24 年 5 月の実習報告

【 1 】

期間：平成 24 年 5 月 9 日～11 日 方南図書館

学校：和泉中学校 2 年生 2 名

内容：本の配架、お話し会、団体貸出本の返却作業など

感想：

お話し会や配架など、やりがいのある仕事が多くてよかったです。配架は慣れるとスムーズに作業ができるようになって、とても楽しかったです。図書館の人達もとても優しく接してくれたので、作業のやり方やマナーがよくわかりました。とてもいい経験になりました。

お話し会や配架など、やりがいがある。

質問！「杉並の図書館について、どう思いますか？」:

雑誌や現代小説などもあっていいと思います。

漫画が少ない。ゆったりできるし、サービス（お話し会等）があつていい。

【 2 】

期間：平成 24 年 5 月 21 日～25 日 中央図書館

学校：神明中学校 2 年生 2 名

内容：書架整理、配架、予約本探し、お話し会、選定会見学、ブックスタート見学

感想：

今回の体験で、本の大切さというのを、あらためて感じました。職員の人た

ちの説明は、すごくわかりやすく、ていねいで、すごく勉強になりました。保存庫の本だなが動くのがおどろきでした。この体験を通じて、よりいっそう図書館をすることができました。すごく楽しく、たくさん学ぶことができました。

ありがとうございました。

おすすめの本

「県庁おもてなし課」有川浩 / 著 角川書店

とある県庁に突如生まれた新部署“おもてなし課”。お役所仕事と民間感覚の狭間で、仕事と恋に奮闘する。若き県庁職員の輝かしい日々！ 若き県庁職員の掛水は、振興企画の一環として、地元出身の人気作家に観光特使就任を打診するが・・・

「バカか、あんたらは。」いきなり浴びせかけられた言葉に、掛水は思い悩む・・・。

いったい何がダメなんだ！？ 掛水とおもてなし課の汗と涙の挑戦が始まった。ぜひ読んでみてください。

「悪の教典」貴志祐介 / 著 文芸春秋

私立高校で英語をおしえている蓮実聖司。蓮実は、他人の気持ちを理解できない病気であった。そのため、すぐに人を傷つけてしまったり、ひどい時は殺してしまう。

しかし、蓮実は頭がよく完全犯罪をこなす。そのため、警察にも手におえない。そして、蓮実はこの高校でも殺人事件を起こす。そのことに蓮実の担当の生徒である圭介、怜花、雄一郎が蓮実のおこないに気づいてゆく。そのことが蓮実にバレ……

【(注：図書館) このあとの文章は、これから本を読む人は知らない方がいいかもしれないので、もっと筋がわかってもいいよ！ ……という人が読んでくださいね。】

圭介は殺される。

それから、蓮実の事について、ぞくぞくと生徒が気づいていく。そして、蓮実は、自分の担当するクラスの生徒を全員、文化祭の準備で学校にとまっている時に殺害することをきめる。

はたして、蓮実は計画を実行して生徒を全員殺してしまうのでしょうか。怜

花と雄一郎の運命は。

【3】

期間：平成 24 年 5 月 21 日～25 日 宮前図書館

学校：神明中学校 2 年生 4 名

内容：本の配架・書架整理・返却作業・お話会・ブッカーかけ・
児童特集展示準備

感想：

特に印象に残っているのはブッカーかけと、特集展示。どちらも楽しく行えた。

おはなし会は、緊張して「どうしよう。」と思っていたが、本番は楽しくやれた。この経験を通して、働くということは、人と優しく接することだなと感じた。

司書の仕事は、本を大切にすることや、一人でも多くの人に読んでもらいたいと思うことが大切なんだ、と実感できた。

おすすめの本：

「韓国新幹線を追え」西村京太郎 / 著 光文社

「チョコレート・アンダーグラウンド」アレックス・シアラー / 著 金原瑞人 / 訳 求龍堂

「クロニクル千古の闇 1 オオカミ族の少年」ミシェル・ペイヴァー / 作 さくまゆみこ / 訳 評論社

「ハリー・ポッターと賢者の石」J.K.ローリング / 作 松岡佑子 / 訳 静山社

【4】

期間：平成 24 年 5 月 21 日～25 日 高井戸図書館

学校：松溪中学校 2 年生 3 名

内容：返却本戻し、本の修理、予約本探し、新刊・雑誌の受入作業、ブッカーかけ

感想：

楽しかったことは、返却された本を棚に戻すこと。大変だったことは、探している本が見つからない時。体験する前は、つまらなそうだと思っていたけど、やってみたら楽しくて、いい体験ができた。

楽しかったことは、地下室に行けたこと。大変だったことは、ブッカーかけ。大変な仕事が多かったけど、楽しかった。

楽しかったことは、保存庫の仕事。大変だったことは、本を棚に戻すこと。私がいつも本を借りている図書館では、こんなにも多くの方が手間をかけて仕事をしているということに驚きました。またこれだけの人の手がかかった本は絶対に丁寧に扱おうと思えました。いろいろなことを経験させていただき本当に楽しかったです。

質問！「杉並の図書館について、どう思いますか？」：

いろいろ工夫がされていて使いやすいと思う。

マンガの置いてある量の差が激しい。

図書館自体の工夫がすごい。特に裏方（お客さんには見えないところ）での仕事のまわし方など。

おすすめの本：

「魔界の塔」山田悠介 / 著 幻冬舎

この本はこわい本であり、最後には感動する話でもあるので、とてもおもしろいとおもいます。

「名探偵の掟」東野圭吾 / 著 講談社

ふつうとはちがい、作者に対する登場人物の思いが描かれてあっておもしろい。警部ではなく名探偵がなぞをといていく。どういふなぞがでてくるのか。。。

「宇宙でいちばんあかるい屋根」野中ともそ / 著 ポプラ社

この本では複雑な人間関係など、私たちに身近な出来事が書かれています。だから読んでいて共感できる部分が沢山あり、自分を振り返ることができるのがおすすめです。また、人間の心の通じ合いについて深く考えさせられます。読めば必ず心に残るような本なので、是非よんでみてください。

【5】

期間：平成 24 年 5 月 21 日～25 日 高井戸図書館

学校：神明中学校 2 年生 2 名

内容：返却本戻し、本の修理、予約本探し、新刊受入、雑誌の受入・装備、ブッカーかけ

感想：

楽しかったことは、ブッカーかけ、新刊の受入、保存庫で仕事をしたことで、大変だったことは、本を棚に戻す作業でした。最初は疲れて大変だと思ったけど、木・金曜日は、楽しいと思った。大変だったことは、本を棚に戻す作業でした。それ以外は楽しかった。

質問！「杉並の図書館について、どう思いますか？」:

区内を本が毎日配達されていてすごいと思った。

おすすめの本：

「カラフル」森絵都 / 作 理論社（現在は、講談社から出版）

最初にいきなり死んだ人が天使としゃべっている不思議な状態で始まり、現実の世界にいったあとの、この人はだれ??という主人公のハラハラ感が面白い。そして、最後は主人公がだれなのかなと思うまでが面白い。

「卵の緒」瀬尾まいこ / 著 マガジンハウス

この本に出てくる七生という男の子の性格がとても印象的でした。見た目は可愛く、活発な少年ですが、時折見せる彼の裏の顔は異常に大人びた犯罪者の子どもです。見どころは、彼の姉、七子との心の距離が様々なエピソード

をふまえて縮まっていくところです。